

令和5年度 第2回木更津市図書館協議会 会議録

- 1 日 時 令和6年3月26日(火) 午後2時00分～午後3時30分
- 2 会 場 木更津市立図書館 大会議室
- 3 出席者 内海雅彦委員 伊藤素子委員 小山百合子委員 安藤ちず子委員
八木保夫委員 鳥飼万希子委員 須磨谷幸子委員 木下真紀委員
中原まどか委員 桂啓之委員
松本明子館長
事務局 石渡恵副館長 安川朱里主事
- 4 協議事項
 - (1) 令和6年の事業計画
 - (2) 「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画」の報告
 - (3) 木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会委員の選出について
 - (4) その他
- 5 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人0人
- 6 資料
令和5年度第2回木更津市図書館協議会次第
令和5年度第2回木更津市図書館協議会資料

(事務局)

それでは、ただ今より令和5年度第2回図書館協議会を開催いたします。進行を担当いたします図書館の石渡と申します。よろしくお願ひします。協議会の開催にあたり本日の会議について報告いたします。本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されております。本日の傍聴人はおりません。また、本日の会議は、委員10名中、10名の出席であり、欠席者はございません。従いまして、図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。以上、ご報告いたします。

でははじめに桂議長よりご挨拶いただきたくと存じます。

(桂議長)

図書館の運営について、真剣に取り組んでいると常々思っております。議題に対して、皆さんの忌憚のない意見を、特に、「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画」の話題も出て参りますので、皆さんのそれぞれの意見を述べていただきたいので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございました。それでは会議に移ります。今後の進行につきましては、木更津市図書館協議会運営規則第2条第3項により桂議長お願ひいたします。また、本日の議事録署名人は、鳥飼委員と伊藤委員にお願ひいたします。それでは、桂議長よろしくお願ひいたします。

(桂議長)

では、議事に入ります。はじめに、議題の(1)令和6年度の事業計画について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

では、令和6年度の計画についてご説明いたします。まだ今年度の数字が確定しないため、口頭にて今年度の報告も併せてご報告いたします。お配りの令和6年度事業計画をご覧ください。時間の関係で主だったのみご説明申し上げます。

まず、保育園等へのおはなし会ですが、今年度初めて図書館利用サークルの協力を得て実施をいたしました。上限を8回とし、その半数である4回を図書館職員が担当し、残り4回をサークルの会員の方をお願いをしました。サークルの派遣を希望した園は7園中4園でした。次年度も継続して協力をお願いしようとして検討しているところです。

ブックスタート事業ですが、こちらは感染症対策のため縮小して実施していたものが、健診会場にてブックスタートボランティア協力のもと実施をいたしました。今年度、ブックスタートボランティア育成講座を開催し、16名が受講し、全員がボランティアとして新年度から活動する予定です。

児童文学講座は、3月16日に開催をいたしました。小学生の低学年の女子児童を中心に人気のある、あんびるやすこさんを迎え、創作活動に関わるおはなしを伺いました。約80名の参加があり、盛況のうちに終わることができました。今回は小学生の参加も可となりましたが、憧れの作家の話を直に聞けるということで、熱心に耳を傾けていた姿が印象的でした。次年度も児童文学に携わる方を講師に招き、講座を開催したいと思います。

企画展示ですが、今年度君津市在住の郷土史家から木更津市を中心に県内の古い風景絵葉書約1,800枚の寄贈がありました。令和6年は木更津の図書館が開館して95周年となるため、その絵葉書を中心に開館の昭和4年前後の様子を伝えるような展示ができればと思っています。現在2階ロビーでは、寄贈いただいた絵葉書の一部を展示していますので、ぜひのちほどご覧ください。

講師派遣事業は、公民館での幼児向けの講座、高齢者教室などにおはなし会の開催で声がかかったり、電子図書の説明の依頼があったりしました。また、秋には清和大学の文化祭や小学校にも招かれ、おはなし会を開催しました。引き続き、関係機関からの依頼には可能な限り応えていきたいと思っています。

電子図書サービスは、一般利用者のほか、学校からの利用申請が4件ありました。一番読まれている分野が児童書、次が料理や家政学なので、利用状況を把握しながらコンテンツの選定をしています。次年度も多く利用されるよう周知をしながら、利用されるコンテンツの収集を行っていきます。

次からは今年度新規事業として新たに組み込んだこととなります。いずれも好評でしたので、次年度も継続を予定しています。

大人のための絵本セラピーは、中原委員を絵本セラピストとして迎え、大人が絵本を楽しむ機会を得ることができました。参加者からは初回が終わった後すぐにアンコールがかかりました。次年度も開催し、新たな利用者の獲得をするとともに、大人へ絵本の楽しさを広げることで、読書活動の普及につなげていければと思います。

高齢者サービスは、公民館で開催されているコミュニティカフェへお邪魔し、電子図書の案内や大活字本といわれる活字の大きな本の紹介を行いました。おはなし会の依頼もあり、図書館の利用が遠ざかってしまっている方にも図書館サービスをお伝えできたかと思えます。こちらも引き続き関係機関と連携し、サービスの継続を図りたいと考えています。

パスファインダー作成は、お手元に2種類配付してありますが、このようにあるテーマについて調べ方を案内したものをパスファインダーと呼んでいます。今まで受けたレファレンスサービスから、よく質問のあるものを選び作成しました。次年度も5件の作成を予定しています。このパスファインダーは、制作し配布することによって、レファレンスサービスが周知され、利用者に活用されることを目的としています。

文芸講演会は隔年で開催している事業です。令和6年度は先ほども申しましたとおり図書館が開館95周年を迎えますので、記念講演として図書館や読書活動にちなんだテーマで文芸作家などからお話を伺う講演会の開催を予定しています。

続きまして次年度からの新規事業となります。

子ども司書養成講座ですが、子どもが図書館の仕事を学び体験することで、読書活動への興味関心を高め、一定回数講座に参加した者を「子ども司書」として認定し、学校や地域で読書活動の推進を図る子どもを育成するものです。現在実施している1日図書館員体験をベースに、より深く図書館の仕事を知ってもらう内容で講座を検討しています。

郷土資料デジタルアーカイブは、図書館が所蔵し著作権の切れた郷土資料を中心にデジタル発信をすることで、木更津の魅力を発信し、資料の活用を幅を広げるものです。現時点では、先ほど申し上げた絵葉書や当館が特殊コレクションとして保存しているギルモア狸コレクションなどを検討しています。

以上を持ちまして令和6年度事業計画といたします。

(事務局)

ありがとうございました。ただいま事務局より説明がありましたが、令和6年度事業計画について、何かご質問はありますか。なお、発言の際は挙手をお願いします。

内海委員お願いします。

(内海委員)

中郷小学校の内海です。普段より日頃大変お世話になっております。お尋ねしますが、小学生向けの講座をたくさん開催していますが、読書感想文の書き方教室のようなイベントを実施する予定はありますか。

(事務局)

確かに東京都の図書館などは、夏休み期間に、市内の小学校の先生の協力や退職された元先生の協力を得て、そういう講座を開催していると伺ったことがあります。またこちらは、後程話しますが、第5次木更津市子ども読書活動推進計画（読書プラン）という、学校と図書館と家庭と協力する動きの中で、連携事業として可能であれば、前向きに検討はしたいと思います。

(内海委員)

ありがとうございます。読書感想文に取り組んでいる生徒が以前よりも少し減っていると感じがいたしますので、もしそのような講座を持っていただけるような機会がございましたらありがたいなと思ひまして発言させていただきました。

(桂議長)

安藤委員お願いします。

(安藤委員)

「子ども司書養成講座」というのは、どの程度の学校を推薦し、選ぶのかその辺が知りたいです。

(事務局)

こちらに関しては新年度の新しい事業ですので、最初は市内の中学校と、高等学校を対象に、広く募集をかけようと思っています。ただ、内容等の関係で、一度にたくさんの児童生徒を受入れるのは難しいので、人数の上限を設定しながら、なるべく参加希望してくれた子どもたちの意に沿うように計画はしたいと思います。どこの学校を指定したというわけでは

ありません。

(安藤委員)

募集をかけるということですね。ありがとうございます。

(桂議長)

伊藤委員お願いします。

(伊藤委員)

実施時間はどのぐらいになりますか。土日や平日の午後に計画していますか。

(事務局)

平日では、放課後の2時間を使うのは難しいと思いますので、基本的には夏休みや、土日などの学校が休みの日を考えております。ただ中学生になりますと、部活動とかもありますので、その辺はまた学校と協議をしながら、なるべく子どもたちの負担にならないような日にちの設定を考えていきたいと思います。

(松本館長)

全国的に中学生高校生の読書離れが進んでおります。まず、少しでも本に興味を持ってもらえるような事業をしたいと考えておりますので、司書の業務に就きたいというような方は、ぜひ応募していただけるといいと思う内容になると思います。その講座が終わった後も、何かしらの活動ができるいいと思っておりますが、参加人数や認定を受けた人数によってできることも変わってきますので、よい方法を検討したいと思います。

(桂議長)

この事業は、小学生は対象外ですか。

(事務局)

小学生は従来通りの「1日図書館体験」に参加していただければと思います。

(桂議長)

伊藤委員お願いします。

(桂議長)

夏休みの企画の「1日図書館体験」を娘が参加しましたが、その時の正直な感想が「もっと体験がしたかった。」でした。とても丁寧に教えていただきましたが、実際はあまり手を動かさなかつたみたいです。もっと、いろんな体験を試みたかった。ということでした。

(桂議長)

活発な意見ありがとうございます。他に何かありますか。

(安藤委員)

募集内容は広報に掲載する予定ですか。

(事務局)

木更津市の広報や、直接学校に依頼し、周知をしていく予定です。

(桂議長)

ありがとうございます。中原委員お願いします。

(中原委員)

新しい事業の中で、この高齢者サービスというのがあり、時代の流れではすごいなと思いました。大活字本っていう存在はよく知りますが、使われ方がいまいちわからないので教えていただけますか。

(事務局)

大活字本とは、通常出版されている書籍の活字を大きくして出版されたものを指します。高齢の方や弱視の方は、単行本や文庫本の小説を選ぶような感覚で選んでいかれています。大活字本しか読まないという方もいますので、積極的に揃えるようにしています。本自体が大きいものもありますし、1つのタイトルが上下巻や、3分冊というような形になっているものもありますし、黒い紙に白い字で印刷されているものもあり、その出版社によって様々な工夫がされています。電子図書のコンテンツによっては拡大機能や、読み上げ機能がありますので、その辺を中心に、高齢者の方たちにお勧めをしています。

(桂議長)

活発なご意見ありがとうございます。それでは質疑を終了いたします。令和6年度は文芸講演会の開催や、新規事業も計画されているとのことでしたので、計画に沿い図書館事業を展開いただければと思います。では、次へ進みたいと思います。

続きまして、議題の(2)の「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画」の報告とありますが、事務局より説明願います。

(事務局)

では本日、まちづくり実施計画につきましては概要版と、冊子版を配布していますが今回は、厚い冊子に沿って説明します。図書館に関連するところをピックアップしてご説明をいたします。

まず、吾妻公園の全体の計画になっております。吾妻公園を3つのゾーンに分けて、それぞれ作る計画になっております。図書館はホールと中央公民館の複合化施設としてできる予定です。

また災害時の避難場所としても、こちらの公園を使う予定で、その際は、図書館が含まれる文化芸術施設を中心として公園全体で避難者を受け入れる予定です。全体のレイアウト図ですが、中央部分に図書館が入る文化芸術施設の場所になっております。

文化芸術施設の整備方針ですが、こちらはホール、図書館、中央公民館、共用部で構成され、図書館の部分については、以前皆さんにもご審議いただきました新木更津市立図書館整備計画を踏まえた上での整備になります。

文化芸術施設の配置の考え方は、海が近いので眺望をより確保しやすい配置や、周辺の広場との一体性を確保や、駐車場の集約することで利用敷地の効率化を図るなどが明記しております。

こちらが必要諸室及び面積で、文化芸術施設の施設構成の方針の案となっております。図書館の部分につきましては、図書館専用の部分が2,400㎡平米になっており、現在の図書館が全部で約1,800㎡なので、現在よりも大きくなると思います。平面構成案がありますが、あくまでも現時点の案なので、令和6年度に細かな設計がされ、大きく変更する場合があります。

先ほど申し上げましたとおり、災害時の避難場所になりますので、災害時の利活用方針ということで、図書館の部分に関しては、避難所、支援物資収集集積所、支援物資配布場所、災害ボランティア受付場所、災害支援情報提供場所のような用途をもって作られる予定です。

整備の手法については、従来方式の設計、施工、維持管理をそれぞれ個別に発注する方

法、DB方式の設計と施工を一括して発注する方式、DBO方式の設計と施工に加え施設の維持管理運営も包括し一括発注する3つの手法から検討されました。結果は従来方式となり、設計、施工、維持管理それぞれ別々に発注していくことになりました。

管理運営については、指定管理者制度の導入と、市による直営のどちらかが想定され、指定管理者制度導入の場合は、日常的な管理運営、施設の使用許可、自主事業の実施、利用料金制度による利用料金収受が含まれます。文化芸術施設は、施設の貸し出しだけでなく、社会教育の場としてこれまで市が培ってきた経験や知識の活用ができることから、市による直営の場合も想定されるということで、現時点ではまだ決まっていないので来年度決めていくことになっています。

それぞれのランニングコストが年間どれぐらいかかるかという経費が記載しています。最近の図書館は、工事で閉館や、感染対策で閉館し、数字が見込めませんが、開館していた令和3年度のものを、例として計算しています。

今後のスケジュールになりますが、今年度、まちづくり実施計画が策定しました。来年度は基本設計と測量、令和7年8年度に実施設計、8年度9年度は、実際工事を進めていき、令和10年度からの運営と開館を予定しております。

その後はこの計画に関する住民説明会の開催のときにでた意見に対する市の考えなどが記載しておりますので後程ご覧いただければと思います。説明は以上です。

(桂議長)

ただいま事務局より説明がありましたが、このことにつきましては、中原委員が検討委員会へ参加していましたので、中原委員からも参加して感じたことなどがありましたら報告をお願いできればと思います。

(中原委員)

参加させていただいたので、感想と想ったことを言わせていただきます。今回この予算の出どころが決まっているので、何のために、なぜあの場所にたてるかをしっかり決めました。そのうえで、今回の一番の問題が避難所としての活用ですが、海のそばの避難所は、一般市民は、海に逃げることの怖さがあると思いますが、市として考えてくれていました。避難所にするために、盛り土にすることや、維持管理が大変な大屋根が必要かということが大事だと知りました。

また、複合施設になるので、今後の運営管理が指定管理制になるのか。直営でやるのかが決まってくると思いますが、図書館に関しては全く別のもので考えて欲しいということは意見として言ってきました。私は、図書館は長く利用しているので、直営にしたいとお願いしました。皆さんの意見でもありますが、直営にすることによってのこれからの人員や予算、取り組みがあり、また新しい図書館を作るにあたり、予算の確保や人の力も必要だと思いますので、その予算の確保をお願いしたいと言ってきました。設計は、まだ誰になるかということは決まっていないので、図書館を基本に設計する業者もあるようなのでそういうことも検討するようにお願いしました。検討していくうえで、私は市民としての図書館協議会の代表として参加していますが、図書館の専門的な方がいないので、図書館の専門の方なら少し違う視点があると思うので、この委員会に参加してほしいと意見しました。

あと、長期的な問題として、誰がどうやって維持していくのかという意見がありました。何十年も使っていくにあたり、コストの問題があると思いますが修繕などのことを考えてい

けたらいいなというのが一番の感想でした。

(桂議長)

大変わかりやすい説明ありがとうございます。中原委員の意見も踏まえてなにか、ご意見、ご質問はありますか。私はこの資料見たときに、非常に緻密に作られているなと感じました。ただ一般の市民の方から、避難所が、津波がすぐ来るような場所に建てるのは、そもそも間違っているという意見もとてもあるそうです。場所も踏まえて計画があるので変更するのは難しいと感じましたね。検討委員会としては最善を尽くしていると感じました。私の意見です。他になにかありますか。八木委員お願いします。

(八木委員)

私も、海の近くに避難所があるというのは心配ではあります。前にも質問しましたが、たとえ、盛り土をしても首都圏直下型地震や東京湾の中で地震が起こり、10メートルを超えるような津波でも大丈夫なのか1つ問題点です。また、飛行場に隣接すると騒音が心配です。特に図書館の場合は、静かな環境で本を読むのが目的の施設ですから、騒音に対する配慮がどのくらいされているか気になって心配でもあります。確か、防衛省からの補助金が出るようですが、市民の命がかかるので、場所を踏まえたうえで決めたほうがよいのではないかとこの疑問があります。

(桂議長)

質問の中では、対策はすると言っていましたが、明確にはなっていないようですね。小山副議長お願いします。

(小山副議長)

面積が、現在の図書館よりも大きくなるのは、とても嬉しいです。本はどんどん増やしてほしいと思うので、ある程度の広さが必要ではないかと思いました。一つ気になったのは、この図面ではトイレがないと思いました。災害場所にもなっているのにトイレがないのは、少し気になりました。

(事務局)

これは、まだ設計なのでまたこれから決まってくると思います。図書館側からの要望として、トイレは、誰でも使えるようなトイレと、子ども用のトイレ、おむつ替えスペースを、用意してもらうようには話はしました。その辺も今の社会通念上一般的に備えられている設備なので、きちんと設計しますという返事はいただいております。

(桂議長)

ありがとうございます。鳥飼委員お願いします。

(鳥飼委員)

私達委員の意見や、提案をさせていただいているのでその部分と、市民の声が少しでも取り入れられた。新しい図書館や文化芸術施設、部屋に関しては、図書館職員の皆さんや、私達委員、あと図書館を利用されている方の意見を、聞いていただいて、音訳の会や点訳の会の作業場を充実させて欲しいなと思っております。

(桂議長)

そのところは、図書館から要望を出していると思われるので期待しています。中原委員お願いします。

(中原委員)

整備計画の時にアンケートがありました。その時に皆さんからの意見の年齢層が高かったです。若い人たちの意見がとても少ないのが問題点として挙がっていました。今後、公募の仕方、聞き方をどういうふうにするかというのを考えていきますということではありましたが、私たちも何らかの形で、話題に挙げていかなきゃいけないことと思われました。

(桂議長)

図書館協議会でも、意見がありましたらぜひ、言っていただければと思います。

(松本館長)

お時間もし許すようでしたらぜひ一言ずつご意見残していただけるとありがたいのですが、どうぞよろしくお願いいたします。

(桂議長)

須磨谷委員お願いします。

(須磨谷委員)

津波のことと、静寂の意見は私も同意します。また、この資料の中に、点訳・音訳資料作成室があり、安心しました。

(桂議長)

木下委員お願いします。

(木下委員)

図書館の本が、災害時に水没することが一番、避けなければいけないことだと思います。新しい建物になるので、きっと市民の方々は、みんな利用される方が多いと思いますが、その本が、災害時に持ち運びができるのかどうか心配ではあります。

(桂議長)

ありがとうございます。内海委員お願いします。

(内海委員)

富津市がイオンの中に図書館が新しくできたという話を聞きましたが、初めから決めて作る図書館は、きっとすごい利用者にとって利便性のある、非常に使いやすいものになるのではないかというふうに思います。このデジタルライブラリーは、何か具体的に構想は決まっていますか。

(事務局)

デジタルライブラリーはまだ具体的に細かいところまでは決まっていますが、例えば、現在図書館が持っている古い資料を公開することや、あとは昨今、写真のデジタル化が進んでおり、なかなか町の様子の写真が残らないので、例えば利用者が市内を撮った写真を収集していき共有できるようなものや、またその写真を元にまちを歩くような体験ができるような仕組みを他の自治体の事例を参考にして考えております。

(内海委員)

ありがとうございます。完成を楽しみにしております。

(桂議長)

安藤委員お願いします。

(安藤委員)

やはり、避難所が気になります。木更津市はまだ被災したことがないので、能登半島などの意見を聞いて参考にした方がいいかと思います。

(桂議長)

その意見は協議会以外のところからとても意見や質問が出ており、対応して話をして、避難所として成り立つようにするというのを、実行委員の方では考えているようです。伊藤委員お願いします。

(伊藤委員)

立地ありきから進んでいるので、どうしても心配事ばかりになります。社会教育委員会会議でも、潮風や水没が心配になるから大事なものは別の場所に保管したほうがいいのではないかという話題もでした。精一杯市民がいいなと思える図書館になれば、これからがその議論が大事になってくるだろうと感じています。

(桂議長)

貴重なご意見等ありがとうございます。次の議題へ進みます。

次は、(3) 木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会委員の選出について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会委員の選出についてですが、先日整備検討を行う企画部地域政策室より、図書館協議会から1名委員を選出してほしいとの依頼がありました。

今年度策定された木更津飛行場周辺まちづくり実施計画をベースに具体的な設計に入ることなので、今年度策定委員として選出した中原委員に引き続きお願いしたいと考えていますがいかがでしょうか。

(桂議長)

ただいま事務局から説明がありましたが、「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画」との関連もあることから、策定検討委員であった中原委員に引き続きお願いすることに関して、拍手をもってご承認賜りたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。

拍手

(桂議長)

ありがとうございます。

それでは中原委員よろしくをお願いします。

続きまして、その他報告等が事務局からお願いします。

(事務局)

木更津市子ども読書活動推進計画は、平成16年に策定されてから、5年ごとに改定を重ねています。令和6年度から第5次として新たな計画を策定いたしました。基本的には、家庭・地域・学校が連携をして子どもの読書活動を推進していこうとの理念を継承しています。新しいところでは、デジタル化社会への対応や、教科書のデジタル対応などを始め、誰もが読書のできる環境づくりに取り組む方策を立てています。学校をはじめとする関係機関へ配付予定です。

(桂議長)

以上を持ちまして、予定されていた議題はすべて審議を終えることができました。次年度

は第5次木更津市子ども読書推進活動計画も策定され、子ども司書を養成する新規事業もあるとのことです。また、郷土資料のデジタル発信などにも取り組むとのことで、時代に沿った運営がされ、より利便性が高くなることが期待されます。文化芸術施設も設計に入るとのことですので、将来を見据えた図書館運営が展開されますよう期待をいたしておりますので、よろしく願いいたします。それでは、すべての議案についてみなさんのご意見を聞き承認をいただきましたので、本日の会議を閉会したいと思います。

皆様の協力で本日の定例会を無事終了することができました。

ありがとうございました。

(事務局)

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも本市の図書館業務の推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。議長の言葉の中にもありましたが、今年度は文化芸術施設の設計が始まるとのことで、大きく動き出すことになると思います。それでは令和5年度第2回図書館協議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

議事録署名人 委 員 伊藤 素子

委 員 鳥飼 万希子